

アスムス ケアナビ CARE NAVI

自宅や施設で療養されている皆様の実りある豊かな人生のお手伝いをいたします。
訪問診療・訪問看護・訪問リハビリ・訪問介護・ケアプラン・通所リハビリ等
どんなことでもまずご相談下さい。

NPO在宅ケアを支える診療所市民全国ネットワーク 第19回全国の集い in 新潟2013



医療法人アスムス

Activities Supporting Medicine Systematic Services
〒323-0014
小山市喜沢1475-328 TEL0285(24)8565 FAX0285(25)0941
Mail:kiboukai@post.sannet.ne.jp

おやま城北クリニック

〒323-0014 小山市喜沢1475-328
☎0285(24)6565 / ☎0285(25)0941

わくわく訪問看護ステーションおやま

〒323-0022 小山市駅東通り3-9-6
☎0285(24)6575 / ☎0285(20)0255

居宅介護支援事業所わくわくおやま

〒323-0022 小山市駅東通り3-9-6
☎0285(24)6575 / ☎0285(20)0255

蔵の街診療所

〒328-0027 栃木市今原町1-17-29
☎0282(29)3131 / ☎0282(27)5455

株コミュニティー研究所(関連事業所)

〒328-0027 栃木市今原町1-17-29
☎0282(27)8414 / ☎0282(27)8415

生きいき診療所・ゆうき

〒307-0001 結城市大字結城9144-1
☎0296(45)6500 / ☎0296(45)6501

介護老人保健施設生きいき倶楽部

〒307-0001 結城市大字結城9143-1
☎0296(20)8666 / ☎0296(20)8667

居宅介護支援事業所生きいき

〒307-0001 結城市大字結城9143-2
☎0296(20)8666 / ☎0296(33)0566

訪問介護事業所生きいきケアセンター

〒307-0001 結城市大字結城9143-2
☎0296(20)8666 / ☎0296(33)0566

NPO法人ホームホスピス結城(関連事業所)

〒307-0044 結城市大字田間1489-2
☎0296(20)9050 / ☎0296(20)9051

街かどクリニック・世田谷

〒154-0017 世田谷区世田谷2-8-2
☎03(5426)6564 / ☎03(5426)6582

城南小学校運動会



- ※ OOTA-RISTEX : 在宅医療を推進する地域診断標準ツールの開発
http://www5.ocn.ne.jp/~kiboukai/oota-ristex_sitedata/index.html
- ※ Home Cares Net : 全国在宅医療支援診療所連絡会
<http://zaitakuiryo.or.jp/>
- ※ コミュニティーケア研究所 : 独立行政法人 科学技術振興機構(JST)
<http://www5.ocn.ne.jp/~kiboukai/komyu.html>

新しい世界に飛び込んで

医療法人アスミス 医師 小坂由道



18年間続けた小児心臓外科医を辞め、一念発起、9月からアスミスに参加しました。人生一度きり、何か違うこともやってみよう、そんな思いは数年前からありました。どうせなら、これまでと正反対のことをやってみよう。外科の反対は内科、でも内科は苦手だから内科系としよう。手術室の反対は病院の外、青空の下。小児の反対は高齢者。色々考えているうちに「在宅医療」に辿り着きました。ウム？しかし何か怪しいぞ！他人の家に上り込んで、この人たちは何やってるんだろう？ Amazonで本を買いまくって、在宅医療の世界を探求するようになりました。昨年冬のことです。

私には、閉塞感漂う日本の医療界において、在宅医療は未開の大地に見えます。蒸気船に飛び乗って新大陸に辿り着いたヨーロッパ人もきっとこんな気持ちだったのではないのでしょうか？

さて、新しい世界に飛び込んで1か月が過ぎました。毎日分からないことの連続です。だからすごく楽しいのです。分かっていることを繰り返すのは苦痛を伴う労働になります。そして確信したことが一つ。この医療を望む人、待っている人が大勢いるということです。私はこれまで自分が興味を持てることだけをやって来ました。これからは社会的責任を果たすことができる仕事をしたいと思います。みなさんよろしくお願ひします。

学会に参加して感じたこと

医療法人アスミス 理学療法士 和田秀範



9月22日から2日間、新潟にてNPO法人在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク主催の学術大会に参加してきました。自分は今年で理学療法士になって5年目になりますが、以前は急性期病院に勤務していたため、在宅・訪問リハビリに携わってからはまだ2年目になります。

訪問リハビリでは、病院に勤めていた頃には見えてこなかった姿をたくさん目にします。その中で、機能訓練はもちろん、在宅生活している環境下で日常生活の介助指導であったり、病院ではなかなか行えなかった在宅環境の提案・調整を行ったことで、実際の在宅生活で行えていなかったことができるようになった時に理学療法士としてのやりがいを感じています。また、訪問リハビリでは利用者様やそのご家族と接する時間が多く、心身機能のことだけでなく、プライベートな話題など、リハビリ以外のことを話す機会があったり、深い交流関係が築けた時にもやりがいを感じられる今日この頃です。

今回の学会では、主に通所・訪問サービス系のシンポジウムに参加しましたが、同じ境遇で仕事をするセラピストの発表を聞いて、とても刺激を受けたのと同時にどのようにアプローチしているか、他職種との連携など、色々と勉強になる2日間でした。これからも自分自身スキルアップできるよう、努力していきたいと思っています。

NPO在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワークに参加して

医療法人アスミス 理学療法士 三浦千秋



こんにちは、介護老健保健施設生きいき倶楽部にて理学療法士として働いています。三浦千秋です。主に、デイケア・入所利用者様を中心にリハビリ業務をさせていただいています。

今回、NPO在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク第19回全国の集い in 新潟2013という研修会に参加し、地域包括ケアや他職種連携についての大切さを学びました。地域包括ケアシステムとは、高齢者ができる限り長く住み慣れた地域で暮らし続けることができるように、医療・介護・住宅・介護予防・生活支援を一体的に提供するものであり、地域の実情に合わせて地域づくりをしていく必要があります。人と人とのつながりを作ってゆくことであることを学びました。具体的に、今私ができることは、リハビリ関連の勉強会や在宅医療や介護についての研修に参加し、他職種との交流や連携を深め、関係を築いていくことであると感じました。

他職種連携については、利用者様や家族の目標の達成のためにはその利用者様に関わる職員が皆同じ目標に向かって、専門性を活かしたそれぞれの立場からケアをしていく必要性を改めて感じました。例えば、リハビリで運動をして身体機能の維持・向上を目指しても、口腔内の環境が悪く、食事の摂取が難しい状態であったら、体を動かすエネルギー源がないためその効果十分に発揮されません。そのため、日頃から担当者会議やカンファレンスといった他職種が集まる場でケアの統一や情報交換を行い、チームでアプローチを行う事により、生活支援や家族の介護負担軽減に向けて日々の業務に努めていきたいと思っています。

入職のご挨拶

医療法人アスミス 医師 弘田義人



7月から結城の生きいき診療所に入職しました弘田義人です。入職して3か月が経ちましたが、診療所の皆様をはじめ、アスミスの皆様、介護サービス事業所の皆様、患者さんや地域の皆様にお世話になり、楽しく充実した日々を送らせて頂いています。

出身は京都で、大学時代に地域医療、家庭医療、プライマリケアの魅力に触れ、自治医大関連の東京都赤羽にある東京北社会保険病院で医師として働き始めました。プライマリケアを担えるよう内科、救急科、小児科、皮膚科、緩和ケア科、整形外科などで勉強してきました。その間、結婚、息子の誕生、祖母との別れなどを経験し、子供を持つ親の気持ちや遺族としての感情などを知り、人生の経過を考えることの大切さも学びました。

現在、妻と二人の息子と共に生活していますが、妻も働いているため、子供の保育園への送り迎えや家事などもこなしています。いま流行りの「イクメン」です。二人の子供をおんぶと抱っこし買い物している姿をみかけた方は、そっと目を閉じ、やり過ごしてください。

仕事の面では、在宅医療に携わることが初めてなので、毎日が新しい発見でいっぱいです。院長の荒井先生の指導のもと、医師として大切な姿勢を学んでいます。その一つが、医学的な評価だけでなく、患者さんの生活を支えていくにはどうしたら良いのかを考える姿勢です。患者さんの生活の場で起こっていることを中心に考える、当たり前かもしれませんが、とても大切な姿勢を教えてください。

医療という切り口から患者さんの人生に寄り添っていき、常に患者さんにとって最善のことは何かを考えながら働きたいという目標を持ってやっていきますので、今後ともよろしくお願ひします。

NPO在宅ケアを支える診療所市民全国ネットワーク
第19回全国の集い in 新潟2013に参加して

医療法人アスミス 事務長補佐 齋藤浩章



平成25年9月22日(日)・23日(月・祝)の両日、新潟県にて開催された「NPO在宅ケアを支える診療所市民全国ネットワーク第19回全国の集い in 新潟2013」へ参加してきました。

黒岩卓夫大会長基調講演「大地の子と地域医療」から始まり、独立行政法人国立長寿医療研究センター総長大島伸一氏の講演。社会福祉法人長岡福祉協会高齢者総合ケアセンターこぶし園総合施設長小山剛氏講演。「平穏死」という言葉が生まれたわけ 石飛幸三氏、太田理事長参加のシンポジウム等々、著名な先生方による医療現場からのお話を伺うことができ、多くの学びと気づき、そして気の引き締まる想いを新たにしました。

大会は講演の他に、実践交流会という形で医療介護の現場で働く皆さんによる発表がありました。診療所看護師による訪問診療に関する取組と改善、認知症であっても自宅で穏やかに看取ることができた事例発表、訪問診療同行看護師が記載するチェックシートの工夫例など、様々な取組事例を聞くことが出来ました。中でも印象的だったのは介護職員の女性が発表した事例です。様々な職種間の協力と人間性の集約によってご本人様のささやかな最後の望みを叶えられ、ご家族と共に安らかな最後をお迎えできたという事例紹介で、介護の現場で働く女性の気遣いと優しい感性の発表でした。

今回の大会を振り返り、改めて医療法人アスミスの公益性と社会貢献度の高さ、医療介護福祉業界に於ける先進性と在宅ケアの実践を推進牽引している実績、職員の皆さんによる日々の業務レベルの高さを実感致しました。これからも皆さんと共に患者様、利用者様と向き合い、様々な人々と連携し、アスミスの一員として地域社会に貢献していきたいと思っています。

今回は大変有意義な研修会に参加させて頂いたことに感謝致します。有り難うございました。